



体育祭

一人ひとりの全力が輝いた体育祭

2026年度体育祭実行委員会 委員長

人間科学部 人間科学科3年 大木 尊及

今年度の体育祭は、5月8日(金)および9日(土)の2日間にわたり開催いたしました。今年のテーマは「全力」とし、競技への参加だけでなく、仲間への応援や運営への協力など、体育祭に関わるすべての場面において、一人ひとりが力を尽くすことを目的として実施いたしました。

2日目は土曜日開催であったため、参加者数に不安もありましたが、当日は予想を上回る多くの学生が来場し、会場は終始大きな活気に包まれました。友人同士に加え、サークルや研究室単位での参加も多く見られ、学年や学科の枠を越えた交流の場として機能していたことが印象的でした。

1日目に実施された1年生学科対抗戦では、学科ごとに参加人数の差が見られ、一部の学科では出場競技に限られる状況もありました。しかしながら、いずれの学科も競技に真剣に取り組み、互いに声を掛け合いながら協力する様子から、強い団結力が感じられました。また、競技を通じて他学科の学生同士が自然に交流する場面も多く、新たなつながりが生まれる機会にもなっていたように思

われます。なお、世田谷キャンパスでは都市工学科が、横浜キャンパスではデザイン・データ科学科が優勝を収めました。

2日目の団体戦では、学年や学科を越えて多様なメンバーがチームを編成し、経験の有無に関わらず一丸となって勝利を目指す姿が見られました。互いに励まし合いながら競技に臨む様子は、まさに本年度のテーマである「全力」を体現するものであったと感じております。さらに、教職員の皆様にもご参加いただいたことで、学生との交流が一層深まる貴重な機会となりました。競技のみならず、運営や応援を含め、参加者全員が体育祭を盛り上げようとする姿勢が随所に見られ、大学全体が一体となった行事となったと感じております。

本年度は大きな怪我もなく無事に体育祭を終えることができ、参加者一人ひとりがそれぞれの形で「全力」を発揮できた行事となりました。最後に、体育祭の開催にあたりご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。来年度もより多くの学生が参加し、さらに活気あふれる体育祭となることを願っております。

後援会員の皆様には、日頃より本学の教育ならびに学生支援活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

後援会では、学園祭や体育祭をはじめとする大学行事の運営支援、課外活動の活性化に向けた助成、学生表彰、キャリア形成支援、さらには朝活応援企画として「100円朝食」への補助など、多方面にわたり学生の成長と充実した学生生活を力強く支えております。

これらの事業は、入学時にご支援いただきました後援会費を原資として実施しており、学生が安心して学べる環境整備を目的とした重要な取り組みです。今後も後援会事業の一層の充実を図ってまいります。

また、今年度も「保証人対象 大学との連絡会」を全国の主要都市にて開

催いたします。各地で寄せられる皆様の貴重なご意見やご要望に真摯に耳を傾け、より良い学生支援の実現に向けて、大学と連携しながら全ての学生が安心して学び、成長できる環境づくりを進めてまいります。

引き続き、皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学生部長(後援会事務局) 共通教育部 人文・社会科学系
体育教育部 教授
久保 哲也



事務局だより